

専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業（拡充）

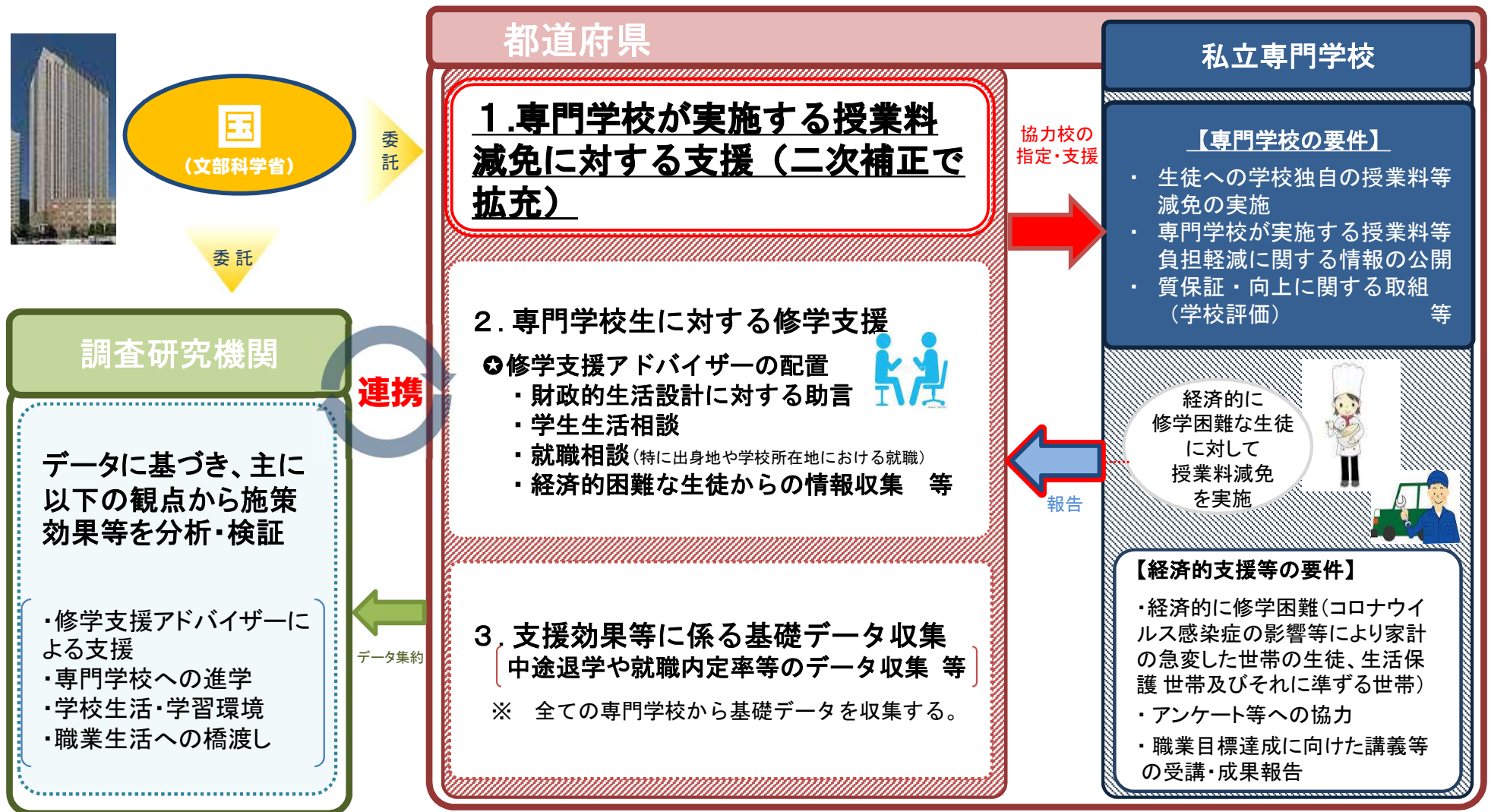
令和2年度二次補正予算額
※令和2年度当初予算額

256百万円
34百万円

事業概要

新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化の影響による家計急変による学業継続の困難、学校経営に与える影響を緊急に把握するため、専門学校が独自に実施する授業料の減免措置に上乗せして経済的支援を行い、施策効果等に関するデータを収集し、分析・検証を行い、その効果等について普及することにより専門学校の取組の更なる充実を図る。

【対 象】 都道府県・調査研究機関



【概要】

（文部科学省所管）

（背景・課題）

- 新型コロナウイルスの感染拡大が長期化し、専修学校において、遠隔授業の実施ニーズが増えてきているところ、生徒が「いつでも・どこでも・誰でも」学修できるよう、デジタル技術を活用した遠隔授業等を積極的に活用できる環境を整備することが必要。

（対応）

- 実施のニーズがある専修学校において、遠隔授業（遠隔の双方向授業・オンデマンド授業）が可能となる設備等の整備により、デジタル技術を活用した高度な教育が提供できる環境を整備する。

（効果）

- 新型コロナウイルス対策のため、専修学校において遠隔講義を行う設備等を整備し、生徒が自宅等において支障なく授業を受講できる環境を構築。
- 専修学校の生徒が自宅等において授業を受講できる環境を整備し、我が国の新型コロナウイルスの感染拡大を抑制。
- 人生100年時代の到来を見据えた、高等教育機関の学び直し（リカレント教育）環境の整備にも繋がる。

支援内容

- **新型コロナウイルスの感染拡大に対応するための遠隔授業の実施に必要となる以下の経費**
（積算単価：2,000千円／1機関、補助率1／2）

遠隔教育システム ……テレビ会議システム

専用端末を使い、高品質な映像と音声で通信することが可能。

……Web会議システム

パソコンに専用ソフトウェアをインストールし、Webカメラやマイクを接続して使用。

主な機器

無指向性マイク、指向性マイク、ヘッドセット、スピーカー、ディスプレイ内蔵スピーカー、個別スピーカー、大型提示装置、大型ディスプレイ、プロジェクタ・カメラ、専用カメラ、Webカメラ、ビデオカメラ、資料共有用端末等々

対象：新型コロナウイルス対策のために遠隔授業を実施する専修学校（学校法人・準学校法人）



学校再開に向けた支援

(※下線部は、令和2年度補正予算案における措置)

新型コロナウイルス感染症の流行を早期に収束させるため、3月に一斉臨時休業に御協力いただきました。その後も、新規の感染者数が都市部を中心に増加し、感染経路が不明な感染者も増えてきており、引き続き警戒を一切緩めることなく、地域の状況に応じ、学校の再開を含む準備を進めることが必要です。

学校再開にあたり、感染症対策の徹底を図る上で必要となるマスクや消毒液の購入等の支援、未指導分の補習等のための支援、子供たちの心のケア、保護者や学生等の経済的な負担軽減などに取り組みます。

学校における感染症対策

- 全国の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・高等専修学校等の児童生徒及び教職員に対して、4月以降を目途に1人2枚の布製マスクを配布（4月中に1枚、5月以降に1枚）します。また、布製マスク、消毒液、非接触型体温計等の保健衛生用品を購入する学校設置者を支援します。
- 幼稚園の教職員に対して布製マスクを配布するとともに、子供用マスク、消毒液、感染防止用の備品等の購入経費を支援します。
- 学校設置者による特別支援学校のスクールバスでの感染リスクの低減を図る取組（1台に乗車する幼児児童生徒の少人数化等）を支援します。
- 新型コロナウイルス対策の指導に対応・活用するため、教職員向けの保健教育の指導書を改訂するとともに、小中高校生向けの啓発教材を改訂します。
- トイレ等の衛生環境を改善し、安心して学び、生活することのできる環境を整備します。

学習指導、心のケア等

- 一斉臨時休業に伴う未指導分の補習等を支援する学習指導員の追加配置や、教員の加配に必要な経費を支援します。
- 一斉臨時休業により生活リズム等が乱れた子供のケア等を行うため、教員の加配やスクールカウンセラー等の追加配置に必要な経費を支援します。

子供たちの体験活動等

- 子供たちの元気を取り戻し健やかな成長を図るため、青少年教育団体等が行う自然体験活動、安心・安全に楽しく運動する機会、質の高い文化芸術に触れる機会の提供・充実を支援します。



趣旨

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための学校の一斉臨時休業の要請に伴い、修学旅行の中止や延期により発生したキャンセル料等について、国が財政的支援を行うことで保護者の経済的な負担軽減を図る。

事業内容

【概要】

学校の一斉臨時休業の要請に伴い、修学旅行の中止や延期により発生したキャンセル料等について、保護者の経済的負担軽減を図るため、一定の所要額を国が都道府県等を通じて財政的に支援するもの。

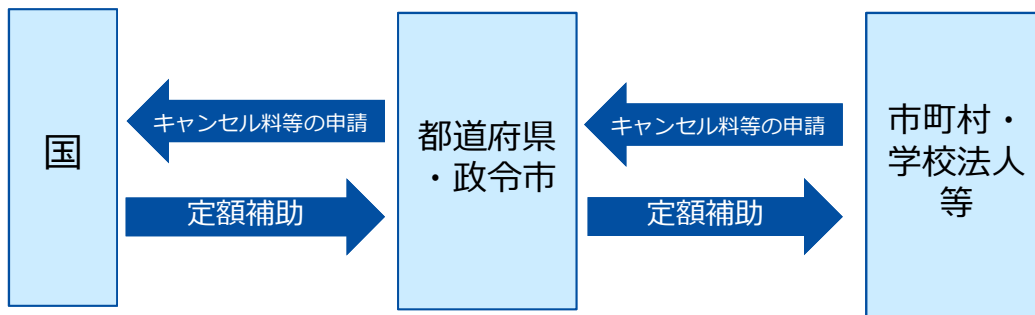
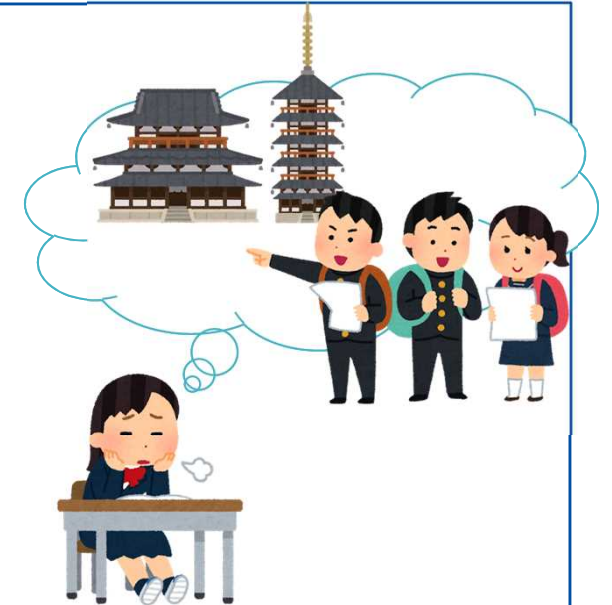
【対象学校種】

国公立の小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校 及び専修学校（高等課程）

【補助率】

定額補助（上限：児童生徒一人当たり12,060円）

※要保護児童生徒援助費補助金における修学旅行費(60,300円)の20%



国が財政的支援を行うことで
保護者の負担を軽減

【参考】修学旅行の中止や延期の状況 <一斉臨時休業中(3月)> (単位：校)

区分	中止	うちキャンセル料発生(調整中含む)	延期	うち追加的費用発生(調整中含む)
国内	128	100	252	174
海外	103	79	71	51
計	231	179	323	225

※国立：令和2年3月12日現在の状況 公立：令和2年3月9日現在の状況
私立：令和2年3月13日現在の状況

(概要)

- 学びを段階的に再開する学校や、すでに再開した学校においては、感染拡大のリスクを最小限にするため学校における感染症対策を強化するとともに、分散登校等の積極的な活用と家庭学習を組み合わせることにより、子供たちの学習保障等に万全を期す必要がある。
- 各学校が、段階的な学校再開に際して学校の感染症対策等を徹底しながら子供たちの学習保障をするために、新たな試みを実施するに当たり、**校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の再開を支援する経費を国が緊急的に措置する。**
 - ➔ 補助対象：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等 ➔ 補助率：公立・私立（1/2） 国立（10/10）
 - ➔ 交付額：地域の感染状況、学校規模等に応じ **1校当たりの上限額（100万～300万円程度*感染状況等に応じて加算あり）の範囲で、学校長等が支援メニューから自由に選択可能**

段階的な学校再開に対応する学校現場への支援メニュー

学校における感染症対策等への支援

■ 新型コロナウイルス感染症対策の強化に必要な経費

- ☞ 消毒液や非接触型体温計等の保健衛生用品の追加的な購入経費
- ☞ 特に感染症の拡大を警戒する必要がある地域において、集団で検温を実施する場合に必要なサーモグラフィー等の購入経費
- ☞ 教室における3密対策として、換気を徹底するためのサーキュレーター等の購入経費



■ 夏季における学校給食実施に必要な経費

- ☞ 従来夏季休業期間に学校給食を実施する場合に必要な調理員の熱中症対策に必要な経費

子供たちの学習保障の取組への支援

■ 児童生徒の学びの確実な定着のために必要な経費

- ☞ 特に感染症の拡大を警戒する必要がある地域において、家庭における効果的な学習のために用いる教材の購入等、児童生徒の学びのために必要な経費



■ 家庭との連絡体制強化に必要な経費

- ☞ 家庭等との連絡や、保護者等からの問い合わせ対応のため、臨時的な学校電話機の増設等、学校における連絡体制の強化に必要な経費

■ 空き教室等の活用に必要な経費

- ☞ 教室における3密対策として、空き教室等を活用して授業を実施する場合に必要な備品等の購入経費

背景説明

学校施設は一日の大半を過ごす子供たちの生活場所となるため、学校が、子供間の感染や子供から家族への感染といったクラスター化した場となるリスクがある。



目的・目標

教室内の換気、トイレのドライ化といった学校の衛生環境の改善を支援することにより私立学校の衛生環境を改善し、学校の一斉休業再開後、学校がクラスター化した場となるリスクを低減。

事業内容 3億円

新型コロナウイルス感染症対策として、小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・義務教育学校・特別支援学校等の教室における空調・換気設備及びトイレのドライ化などの整備に要する経費に対して国庫補助を行う。

（補助率：1/3）

◆教室の空調・換気設備の整備

教室への空調・換気設備の設置工事
（空調設備や換気設備の整備を進め、室内環境を改善）

◆校舎等のトイレ改修

湿式のトイレから乾式のトイレへの改修等工事
（より感染リスクの低い乾式への改修等を進め、トイレ環境を改善）

◆特別支援学校校舎等の改築整備

狭隘解消のための校舎等建物の改築工事



空調のない教室
（扇風機）



空調設備・換気設備を備えた教室

「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』の創設

背景・課題

- 新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、世帯収入の激減、アルバイト収入の激減・中止等学生生活にも経済的な影響が顕著となってきている。
- これら経済的困難な学生等に対しては、本年4月に開始した高等教育の修学支援新制度及び貸与型奨学金の家計急変対応や大学等に対する授業料納付の延期、各大学独自減免措置への支援等の対応をとってきているところ。
- 一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、更なる状況の悪化に伴い、特に家庭から自立した学生等において、大学等の中退せざるを得ないような事態も想定され、これに対する対応を早急に検討する必要あり。

➡ **将来の経済社会基盤を確保する観点から「学びの継続」のために必要な「学生支援緊急給付金」を創設**

事業の概要

○事業のポイント

- 特に家庭から自立した学生等において、新型コロナウイルス感染症の影響によりアルバイトの減・解雇等突然の収入減による「学びの継続」の危機を抱える状況を踏まえ、**より早く現金が手元に届くスピード重視の制度設計**
- 上記学生等を取り巻く経済環境の激変への対策とともに新型コロナウイルス感染症の**長期化も見据えた「学びの継続」のためのこれまでの支援策との連携**

◇**対象学生：国公立大学(大学院含む)・短大・高専・専門学校** ※留学生を含む
(日本語教育機関を含む)

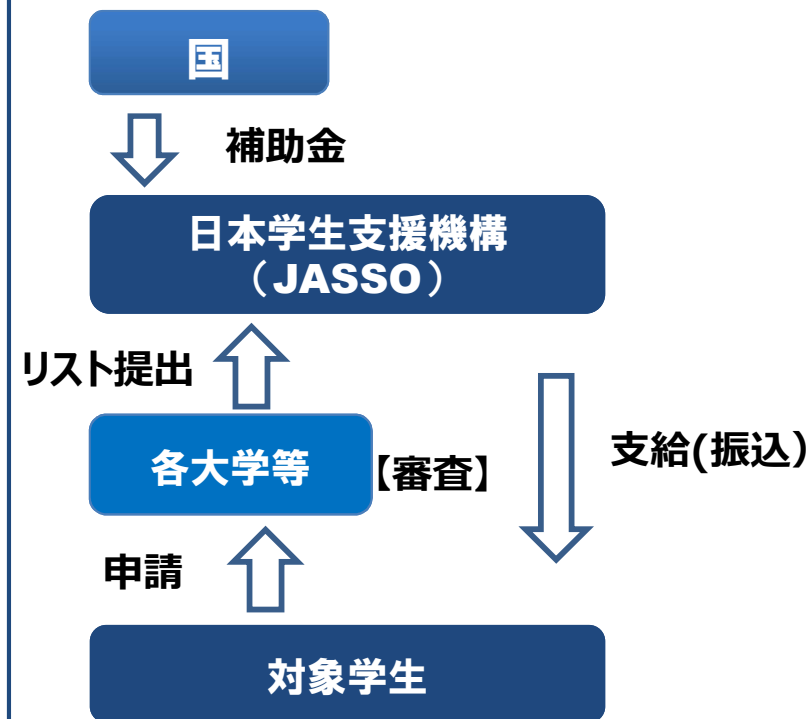
家庭から自立してアルバイト収入により学費等を賄っている学生等で、今回の新型コロナウイルス感染症拡大による影響で当該アルバイト収入が大幅に減少し、大学等での修学の継続が困難になっているもの

◇**対象者： 約43万人**

◇**給付額： 住民税非課税世帯の学生 20万円**
上記以外の学生 10万円

◇**所要額： 約530億円**

事業スキーム



新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 ～脱コロナに向けた協生支援金～

新型コロナウイルス感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、緊急経済対策の全ての事項についての対応として、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金～脱コロナに向けた協生支援金～」を創設する。

1. 補正予算計上額 1兆円

2. 所管 内閣府（地方創生推進室） ただし、各府省に移し替えて執行

3. 交付対象等

(1) 交付対象 : 実施計画を策定する地方公共団体（都道府県・市町村）

(2) 交付方法 : 実施計画に掲載された事業（※）のうち国庫補助事業の地方負担分と地方単独事業の所要経費の合計額に対し、交付限度額を上限として交付金を交付

※ ソフト事業を中心とし、それに付随するハード事業も対象

(3) 交付限度額 : 人口、財政力、新型コロナウイルスの感染状況、国庫補助事業の地方負担額等に基づき算定

4. 用途

地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに実施する

・ 新型コロナウイルス感染症に対する対応（感染拡大の防止策、医療提供体制の整備）

・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた地域経済、住民生活の支援

等の事業に充当。

103.遠隔・オンライン学習の環境整備、GIGAスクール構想への支援事業

学校の臨時休業等の期間中も切れ目ない学習環境を提供するため、支援の必要な家庭等に対する通信費などのオンライン学習のための費用や高等学校・大学等の端末・モバイルルーターの整備、EdTechツールの導入に係る費用、障がいのある児童生徒のための入出力支援装置の整備の助成など、GIGAスクール構想関連事業等との連携による児童生徒・学生や教員が学校・自宅で使うICT環境の整備・運用経費等のうち、他の支援施策の対象とならない又は超える部分に充当。



緊急時
対応段階

継続・回復
段階

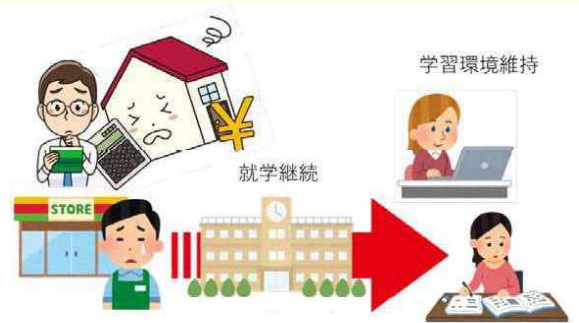
■個人 □事業・団体 □施設・地域
子ども・学生・子育て

【目的】 学習機会を確保したい

【主な関連】 文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課

107.家計急変学生等支援事業

他の支援施策の対象とならない又は超える部分について、家計の急変やアルバイトの収入減により、学生等（留学生を含む。）が、就学の継続が危ぶまれる場合に、地域の実情に応じて、その就学継続のために必要な支援に充当。また、地域の実情に応じ、地域経済の好循環等に貢献する日本語教育機関（専修学校を含む。）に対し、学生の就学環境を維持するために必要な経費の一部を支援。



緊急時
対応段階

継続・回復
段階

■個人 □事業・団体 □施設・地域
子ども・学生・子育て、外国人

【目的】 学習機会を確保したい

【主な関連】 文部科学省高等教育局大学振興課

各事業の連絡先について

- ◎ 専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業
0 3 - 5 2 5 3 - 4 1 1 1 (内線 : 3 2 8 0)
- ◎ 専修学校における遠隔授業の実施に必要な環境整備の推進
0 3 - 5 2 5 3 - 4 1 1 1 (内線 : 3 2 8 0)
- ◎ 学校保健特別対策事業費補助金
0 3 - 5 2 5 3 - 4 1 1 1 (内線 : 3 4 6 8)
- ◎ 高等専修学校の施設環境改善整備事業
0 3 - 5 2 5 3 - 4 1 1 1 (内線 : 3 2 8 0)
- ◎ 学生支援緊急給付金
0 3 - 5 2 5 3 - 4 1 1 1 (内線 : 3 9 5 8)
- ◎ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
0 3 - 5 2 5 3 - 4 1 1 1 (内線 : 3 2 8 0)
- ◎ 専修学校における先端技術利活用実証研究、専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト
0 3 - 5 2 5 3 - 4 1 1 1 (内線 : 3 4 6 8)